

	中野区立緑野中学校 学校便り
	探求・創造・共生
平成 28 年 6 月 15 日 (水) 発行 第 4 号	

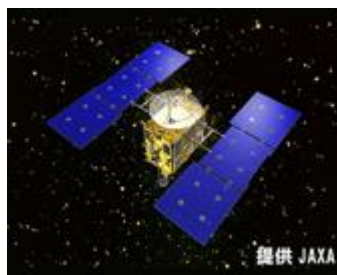
『チームワーク』

校長 田代 雅規

体育祭が終わりました。優勝したクラス、大縄跳びで新記録を出したクラス等、多くの生徒の活躍がありました。体育祭を通してクラスの「チームワーク」が深まったのでしょうか。「チームワーク」を辞書で調べて見ると、『物事を成し遂げるために団結し連携を取る協力体制のこと』とありました。

日本では、2008年から毎年11月26日(いいチームの日)にチームワークの大切さを考えるためにその年に最もチームワークを発揮し、顕著な成績を残したチームを「ベスト・チーム・オブ・ザ・イヤー」として表彰しています。

<2010年>



小惑星探査機・「はやぶさ」
プロジェクトチーム
(JAXA)

<2011年>



コンピュータ「京」
開発プロジェクトチーム
(RIKEN)

<2012年>



東武タワースカイツリー株式会社
東京スカイツリー運営チーム

<2013年>



2020年東京オリンピック
パラリンピック招致チーム

この「ベスト・チーム・オブ・ザ・イヤー」の選考基準には、以下の4つが挙げられています。

◆ 効果 ◆ 効率 ◆ 満足 ◆ 学習

この4点がチームのアウトプットであるとドイツの学者は定義しています。つまり、結果や効率だけでなく、良いチームで活動することによって、満足度や学習できたと感じる度合いが含まれるということです。チームワークというとなんか効率よく作業をして、良い結果を残せるチームと考えてしまいがちですが、本当に良いチームワークとは、良い結果が残せること、効率が良いことはもちろんですが、参加した人たちの満足度が高く、勉強になった、学ぶことが多かったと感じるチームだということです。

体育祭を通して良いチームワークが発揮できましたか。体育祭の準備から本番までの取り組みの中で、応援団や実行委員の大変さが分かった、今までに知らなかった友達の良いところが分かった等、勉強になったことがありましたか。一つでも二つでも学ぶことができたなら良いチームワークだったということなのではないでしょうか。



1年A組



2年A組



1年B組



2年B組



1年C組



2年C組



3年A組



- クラス旗
優勝
1年C組
2年A組
3年C組



3年B組



3年C組

